

園だより



ArteKodomotoki

社会福祉法人 種の会
幼保連携型認定こども園
アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001 中野区中野1-59-5
Tel 03-3365-0602

9 2025



ホームページ



Instagram

お知らせ・おねがい

・台風の伴う風災害時の対応について

中野区が発令する避難情報が「警戒レベル3（高齢者避難）」以上の場合、お子さまやご家族、職員の安全を守る為の休園を致します。保護者の方にはチャイルドケアアプリのメール機能を使ってお知らせ致します。休園や保育途中の急なお迎えを依頼することもありますので、アプリのメールにすぐに気付ける設定への変更をお願い致します。

※アプリのバージョンUPの連絡がきた際は、随時更新をして下さい。アプリの不具合がある場合は、再インストールをお願いします。その際は事前にお渡ししております個別のアクセスコードとパスワードが必要です。

園には大人用の傘と子ども用の傘を用意しております。自転車置き場までの雨具としてご利用下さい。

・門の暗証番号の変更

安全管理の為、10月1日より門の番号を変更いたします。新しい番号は10月1日の午後、チャイルドケアアプリメールにてお知らせ致します。

・運動会は、10月11日（土）午前中 桃園第二小学校体育館で開催予定です。

※運動会への参加は2歳ピコ組～5歳ナノ組となります。

・令和8年度入園幼稚園コースの説明会を開催しました。今後、願書配布・受付を致します。

・おねがい

プール遊びは終わりましたが、これからも暑い日には水遊びやシャワーをします。タオルや着替え、連絡簿への記入等、忘れ物のないようお願いいたします。

September 9 2025						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1 引き取り訓練	2 音楽あそび	3 園見学会	4 運動あそび	5	6
7	8 音楽あそび 発育測定	9 地域ランチ	10	11 運動あそび 地域サーキット	12	13
14	15 敬老の日	16 お話びっくり箱	17 音楽あそび 園見学会	18 運動あそび	19	20
21	22	23 秋分の日	24 園見学会	25 運動あそび	26 誕生会	27
28	29 音楽あそび	30				

※地域サーキット、園見学相談会は地域にお住まいのご家族への子育て支援として開催しています。

今月のテーマ：水にまつわるエピソードです。



「秋暑の候」とは、暦の上で秋の始まりに使う挨拶の一つです。「秋は来たけど、まだ夏の暑さを感じる」という意味で、四季の移り変わりを表わす美しい表現です。今年の秋は、全国的に9月中旬まで高温が続くとのことです。暑さ対策は続きます。秋らしさを感じるのは少し先になりそうですが、涼しくなると、朝夕の気温差で体調を崩しやすくなります。秋の味覚で栄養をとるのもお勧めです。「秋茄子は嫁に食わすな」というほどナスは美味しくなると言われています。このことわざの由来、実は姑の意地悪ではなくてナスは体を冷やすのでお嫁さんの体を気遣う優しさから生まれたという説もあります。他にもサツマイモやきのこと類などが美味しくなる季節です。旬の味で秋の訪れを感じてみるのも良いかもしれませんね。

園長 山田寿江

シンポジウム開催 ～エレ先生ありがとう～

一年間、子ども達と共に探求活動を展開してきたエレ先生がイタリアへ帰ります。日本語とイタリア語を交えて、子ども主体の言葉遊びや対話、様々な学びを形にしてきました。8月30日にはイタリア文化会館で実践発表し、多くの方々にアルテの取組みを知っていただく機会となりました。エレ先生は「園のあらゆる空間がアトリエです」と言い、子ども達の研究表現である作品とドキュメンテーションを園のあらゆる場所に展示してきました。エレ先生が教えて下さったことは保育者の学びにもなり、今後も子ども達との探究を続けていきたいと思っています。



0歳児は小さな研究者



「0歳児 探究の軌跡 ～環境が変えた学びのかたち～」と題して、ソニー教育財団「科学する心を育てる」論文に応募しました。科学する心は、感じる心と探究する姿勢から育まれます。5回目の応募となる今回は、豊かな感性と創造性の芽生えを育む0歳児の環境とその影響に焦点を当てました。「環境は第三の教育者」という視点から、自然物や光、塩などの素材を通じて0歳児がどのように探究し、関わりを深めていったかを丁寧にたどった記録です。追って公表しますので、ご一読下さい。

じゃんけんグリコ ～親子のホットタイム～

「じゃんけんぽ～ん」「グリコ」と楽し気なやりとりが、朝の階段から聞こえてきます。懐かしの遊びを楽しむ親子の姿です。先に2階のゴールに着いたお子さんの満面の笑み！微笑ましい光景です。朝は慌ただしく限られた時間の中で追われるように仕事へ向かうことが多いのが常です。「早く～！」と心の声も大きくなります。お迎えでは、なかなか帰らない～なんてこともあって朝夕はくたくたです。どこかで少しだけ息抜き、ほんの短い時間でもお子さんとの楽しみをみつけられたらいいですね。ジャンケン、そんなふれあいのひと時をもたらしてくれる魔法のアイテムです。



異年齢の関り

主幹教諭：中村

夕方、つかり立ちが出来ようになった0歳児の友達が、遅番の部屋に遊びに行きました。すぐ2歳児クラスの女の子が気付いて、一緒にいた保育者に声を掛けていました。

「赤ちゃん 可愛い！」

「お名前？」

「まだ歯が生えていないね」

「注射の跡、赤いね。私はもうお姉さんだから赤くないよ」

などと、次から次へと気になった事を話していました。

動きや言葉、保育者に抱っこされている姿などを見て、年下の友達と認識し話しかけ方も優しくなっていました。

実際に同じ部屋で遊んでいると、持っている玩具を渡したり、話しかけたりして、反応してくれる事が嬉しく関りを持つことを楽しみます。

幼児クラスは日々異年齢で過ごしていたり、グループ活動を行っていたりするので、優しくされた経験が大きくなった時に、今度は自分が優しくしようと思う気持ちになっていきます。

自分の事だけでなく、人の役に立つことが嬉しく誇らしく感じられ、年下の友達のお世話をしたりするようになっていくのですね。



愛された記憶

主幹教諭：黒木

8月は事務所の前に世界の絵本が並び、多くの子ども達が喜んで手を伸ばしていました。保護者のみなさまも幼い頃にはお気に入りの絵本が何冊かあったと思います。その絵本の背景には、絵や物語の素晴らしさだけではなく、大好きな人の優しい声や温かなぬくもりの思い出が詰まっています。子どもが成長するにつれて、読まない絵本を処分されるご家庭も多いと思いますが、お子さんが大好きな絵本の数冊をいつでも手の届く場所に残しておくことをお勧めします。卒園し、やがて思春期を迎え大人になるまでに、子ども達は学校という社会の中で様々な経験をします。それは楽しいことばかりではなく、辛いことや悲しいこともあるでしょう。乗り越えなければならぬ試練があった時、幼い頃に読んでもらった絵本のページをめくることで、愛された記憶がよみがえり、一歩踏み出すための力が湧くと言われています。



表紙の絵

5歳ナノ組のおぐろけいとくんが描きました。赤ちゃんのお部屋の前にびっくりするくらい大きな“オニヤンマ”がいました。じっくり観察してみるとトンボにも目と目の間に大きな鼻があることを発見しました。



AtoO

色水いろいろ……

色水を作って遊びました！Ｙくん、Ａくんは色水に興味津々です。保育者の動きもよく見ており、保育者が空のコップに色水を注ぐと手を伸ばし、色水やコップに触ろうとしていました。保育者がＹくんの持つコップに色水を注ごうとすると、Ｙくんはコップをペットボトルの口へ被せて色水を入れようとしており、注ぎ口から色水が出てくることを待ちわびていました。次にＡくんに色水を注ぐと色水が入ったコップは重くなり片手で持つことに難しさを感じたようです。「おととと」と声が聞こえそうな様子で両手に持ち換えていました。保育者の真似をして一緒に「カンパイ」をして楽しみました。



「せんせい、どうぞ！」

片栗粉を水で混ぜて遊んだ時のこと……。 「なんだこの白いものは」と体を固まらせるＡさんの姿がありました。保育者が触ると人差し指を立てて恐る恐る近づけます。触る直前で「やっぱりやーめた！」と指を引っ込めて保育者に苦笑いを浮かべていました。保育者が手で掬ってＡさんの手に乗せると、最初は固形に近い白い片栗粉が一瞬でドロッと溶けだします。その変化に慌てたＡさんは手を振って振り落とします。目を丸くしながらも自分の手に残る片栗粉をじっと見つめ、容器に入った片栗粉に目を移していました。すると、今度は自分から水溶き片栗粉の中に手を入れてバツと手を挙げ、保育者にパーの手を差し出していました。まるで「せんせい、どうぞ！」と言っているようでしばらく２人で笑い合いました。

今期は片栗粉、野菜の皮に塩などなどたくさんの感触遊びをしてきました。次はどんな感触遊びが待っているのか、はじめての感触に子どもたちはどんな反応を示すのか……
楽しみですね



Ato1



私もやってみたい！

水遊びの時に、タライの中に前に遊んだことのある野菜を入れてみました。

前に遊んだこともあり、子ども達はためらうことなく、じゃがいもやにんじんの皮、小松菜などを手にしていきます。

Kくんは、にんじんの皮を近くにあった花につけてあげようと、皮を手に持ち、近くへ持っていきます。また、リボンのつもりなのか、保育者の頭にかけてようとしてくれました。

Kくんの発想はそれだけではなく、Fくんのもとへ行き、手首に巻き付けて「プレスレット！」と教えてくれました。それを見たFくんとRさんは自分の手首にも巻き付けようと、タライからにんじんの皮を取り出してどうしたら上手く巻けるか、試していました。

保育者などの大人だけではなく、友達の見真似をして「自分もやってみたい」と感じ、様々な経験を通して出来ることが少しずつ増えていきますね。

はじめての冒険

水遊びだけではなく、新しい遊具“噴水マット”を出してみました。

これまでは、タライの中の水をひしゃくですくったり、コップに入れたりして全身で水を浴びて遊ぶ機会はありませんでした。それとは違い、噴水マットは周りから水が出てくるため、全身に水を被ります。子ども達にとっては冒険のようなもの。

多くの子どもが固まって、なかなか中に入っていけない中、Mくんは嬉しそうな表情で目を輝かせながら、中に入っていきます。マットの上の水溜まりを両手でバシャバシャと叩き、噴水の1番高くなっている場所に立ち、全方向からやってくる水を浴びて「わあ〜！」と声をあげながら、目を細めて気持ちよさそうな表情をしていました。



Pico2

思いやり

保育者が「バタ足するよ～」と伝えると「うわあ～」と元気いっぱいバシャバシャと足を動かして水遊びを楽しんでいました。顔にかかって「やだよ～」とRさんが悲しそうにしていると「ちょっとまって！」とIさんが顔の水を手で拭いてあげる姿が見られました。「もう大丈夫だよ」とすっかりお姉さんのピコ組さんです。そのやさしさで友達もにっこり笑顔でした。水遊び以外でもサーキットの場面でも友達のことを気にかけて「ここおいで～」と初めて挑戦することに緊張している友達のことを気に掛けやさしいピコ組さんです。



発見

テラスで色水遊びをしていました。「あれ？おててがオレンジ色になっちゃった～」と手を入れると自分の手の色が変わることに気が付いたYさん。これを見て「おててがみえなくなった～」とMさんも奥の方まで手を入れて絵の具の色で見えなくなったことを保育者に伝えていました。「あれ？どこかな？」と話す「いましたー！！」と見せてくれました。友達の発見から自分も“やってみたい”と挑戦する姿が見られました。

食紅の色水を用意すると「色を混ぜたらむらさきになった～」とA君が気付く「こっちは水色だよ～」とMさんが好きな色を沢山ボトルに入れて見せてくれました。友達との関わりで色の変化や沢山色水を入れると透明のボトルに入れた色が濃くなることに気が付き遊びが広がっていました。

テラスで筆でお絵描きをしました。保育者がリンゴやおむしの絵を描いていると子ども達も同じように「りんご～」と描いて見せてくれました。次は窓に絵を描くとしずくが落ちていき「水が走っている～」とHさんが話して「はやいね～」Kさんも一緒に水の動きを見ていました。

今後も色水・氷・自然物を使って色・形の変化や違いを発見して夏ならではの遊びにしていきたいと思います。

NAV03

水で描く

普段見ている透明な水と違う色水に興味を示しながら遊んでいました。友達と水をかけあったり、ホースで水の通り道を作ったりして遊んでいる子ども達がいる中で、A君が筆を取り出しました。A君が色水に筆を付けて床や柱を塗ります。「あれ？色がつかないぞ」と不思議そうに赤、黄色、緑の色水に筆を付けては塗るを繰り返します。何度も何度も繰り返していくうちに、先ほど自分が塗った場所が乾いていることに気が付きました。「何回でも描けるじゃん！」と大発見したことを保育者や友達に伝えるやいなや、無限に描けるキャンパスに虎やドラゴン、ハートを描いて楽しんでいました。



氷って

氷遊びをしていたBちゃんが、氷で遊んでいるうちにだんだんと氷が小さくなっていることに気が付きました。「氷ってなんだろう」「なんで冷たいの」「どうして小さくなるの」と次々に疑問がわいてきました。しかし、近くにいた友達に聞いても、「何でだろう」「わからないよ」そこで話を聞いていた保育者が「氷ってお水なんだよ」と言われると、お水を触って「氷より冷たくないよ」「何で氷になるの」と新たに疑問がわいてきました。そこで「氷をお日様が当たるところにおいてごらん」と声をかけ、一緒に観察してみました。すると、溶けた氷から水が出てきたのです。「氷ってお水だったんだ！」とBちゃんが驚きの声をあげていました。

Nano4

ぶどうにも！

お盆期間中に水遊びを行いました。タライや桶、ペットボトルの容器などで豪快に遊ぶ子どもが多い中で花壇に咲いている花や葉っぱなどの植物に水をあげる子ども達がありました。ジョウロや水のあげやすい容器に水を入れては花壇の所まで持って行き、何往復もして植物に水を沢山あげていました。

その中で「ぶどうあった！！」とAくんが大きな声で教えてくれました。「ぶどうさんも喉が渇いていると思うからお水をあげてあげて」と伝えるとペットボトルに水を汲んで何度もブランコの所で水をあげていました。ぶどうのなっている所へ行くのかと思い見ていたので「どうしてそっちに行くの」と声をかけてしまいました。「ここにあるから」と返事が……。よく見てみると足元にぶどうが一房落ちていました。高い所から勢いよく水をあげると実が取れてしまい悲しそうにしていました。見かねたBさんが「ジョウロであげたらいいんじゃない」としゃがんで水をかけてあげていました。先日、ぶどうを収穫して食べていたのでぶどうのなっている所へ水をあげに行っているのかと思っていたら、落ちて一房の為に水をあげていたかわいらしい姿でした。

落ちて一房の為に水をあげるという大人にはない子ども目線の楽しい発見でした。



かわいいのがいいの

ホースで沢山の水風船を作って遊んだ日がありました。一斉にできる水風船を見て「わー！！」と3歳さんも4歳さんも5歳さんも目をキラキラとさせ、出来る様子を間近で見えました。作り終わった後には投げて割って楽しむ子もいれば、バケツやカップに入れて大切に感触を楽しんだり、水の中で動かしたりして研究する子もいました。

Cさんはタライへ落ちたピンク色の小さな水風船を2、3個集めバケツへ拾いました。バケツの中に集めるとニコニコしながら他の場所へ遊びに行ったり友達に自慢したりしていました。大きな水風船がタライに入っていることに気付くと触って違いを確かめていました。普通の風船で作ることで割れにくく、弾力があり大きいものを作ることが出来ました。触ったり持ち上げたりした後に「小さいのと全然ちがーう」と比較していました。小さいものも大きいものも一通り楽しんだ後、バケツの小さい水風船を大切に持ち運びながら遊んでいました。「大きいのはいいの？」と聞くと「小さいのが可愛くていいの！」と返答がする可愛らしいCさんでした。



NANO5

～プール、水遊びって楽しい！～

「今日はプール、水遊びするよ」と伝えると「先生にたくさん水を掛けられるよ」「暑いから早くプール入りたい！！」「綱引きやりたいよね！」と遊んでみたい内容で子ども達同士で大盛り上がりです。



プールに行くと最初はみんなでお互いに軽く水を掛けていだけですが、時間が経つにつれてだんだん激しくなります。その内にプールに入っている保育者にも思い切り水を掛け始めて保育者も子ども達も顔がビシャビシャになるくらいです。



プール遊びの中でも子ども達に大人気なのが、「水中綱引き」。水中で保育者が綱役になり2チームに分かれて自分の陣地に引き合うゲームです。以前のプールで水中綱引きを行った際にS君のいるチームが負けてしまいました。するとS君が「悔しい。次は勝ちたい！」と言ったので2戦目をすることに。すると「A君は先生のこっちの手を引っ張って！Kちゃんは横から押して！」ゲームをしながら自分の意見を伝えているS君の姿が。その作戦が功を奏したのかそのゲームではS君のいるチームが勝ちました。目標を達成するために考え、友達と協力するということが経験出来た一場面かなと感じました。

～夏祭り～

先日、夏祭りがありました。。当日、ヨーヨー釣りの店員さんになったH君とK君は3歳のお客さんがどのようにヨーヨーを釣ったらいいのかわからない様子を見ると「ここに引っかけるんだよ」と伝えますがなかなか上手いきません。K君はしばらく考えると保育者の所にいき「先生、あの子に手で取ってプレゼントしてあげてもいいかな？」と聞いてきました。難しそうだな、どうしようかな？と必死で頭の中で考えたんだろうと思います。最終的に3歳の子に優しく笑いかけながら手渡していました。そんな年長児の優しく思いやりのある行動に保育者もホッコリしました。



輪投げのお店では、最初お客さんがなかなか集まらず、そこのお店の当番のMさんはしばらく無言の時間が続きました。すると他のお店から「わたあめありますよー！」と聞こえると、同じように「こっちの輪投げすぐできますよー！」「いらっしませー！」と大きな声を出してお客さんに呼びかけます。するとその呼びかけに答えてくれるようにお客さんがどんどん輪投げのお店に来てくれました。後日「夏祭り、どれが一番楽しかったかな？」と保育者から聞かれると「大変だったけどいらっしませーって言ってたくさん人が来てくれたのが嬉しかったんだ」と笑顔で話してくれたMさんでした。



Atelier



夏の思い出 ～ 廃材でコラージュ ～

5歳ナノ組の子ども達とお菓子や食品のパッケージや包み紙などの廃材を切り貼りして制作遊びをしました。

制作のヒントになりはしないかと思い、夏に楽しかったことを訊いてみると……。

飛行機と電車を乗り継いでおじいちゃんおばあちゃんのところへ行ったこと。お泊りして、川遊びをしたり忍者を見たりしたこと。お別れする時、寂しくて泣いたこと。沖縄の海がきれいだったこと。『絶滅しました展』を見に行ったこと。話したいことが次から次へと溢れてきます。

ひとしきり思い出話に花が咲いたところで、テーブルに廃材を広げってみました。「うわー、何これ？」と誰からともなく声が上がります。この中から自分がいいなと思ったものを選んで、好きなところを切り取って自由に貼り付けてみようという提案しました。廃材の山を探りながら「これがいい！」とお気に入りを見つけると早速切り始めるAさん。

「うーん、なんかこれ、いい匂いがするよ」とお菓子の包みに鼻を近づけるBさん。



最近流行っているらしき歌を口ずさみながらも、廃材の中から好きなものを選ぶ決断が早いCさん。色合いやレイアウトにこだわり、じっくり進めるDさん。

廃材から四人四様の物語が生まれていきます。

Aさんが完成させた作品のモチーフに彼女の好きだという雪があり、保育者が「夏は雪がないからつまらないね」と言うと、Dさんが「夏は楽しいよ。海とかあるし。プールもあるし。夏の方がいいよ」と主張しました。するとみんなも「うん、うん」と頷きました。

大人は酷暑が続く夏にうんざりしているのだけれど、子ども達にとって、夏はやっぱり楽しくて特別な季節なのだと思いますと同時に、一日一日、一秒一秒を体中で味わい、楽しんでいる子ども達を眩しく感じるひと時になりました。

作品は9月の玄関ディスプレイとして展示いたします。ドキュメンテーションとともに楽しみください。



ほけんだより

今年の夏も連日の猛暑でプールが中止になることが多く、帰宅後もパワーがありあまっていたのではないのでしょうか？いよいよ運動会に向けての練習が始まります。暑さに負けないように食事と睡眠をしっかりとって、体調を整えて運動会の練習に臨みましょう。

4、5歳合同で『鼻について』の保健指導を行いました。鼻ってどんな働きをしているのか尋ねると、子ども達の答えは「息を吸って吐く」でした。他に体の中に細菌やウィルスを入れないようにする「体を守る働き」と「においを感じる働き」があることを伝えました。

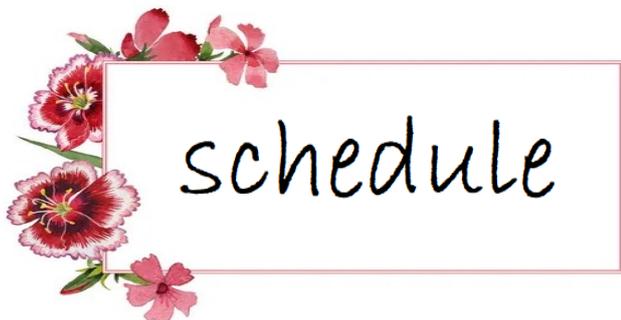
鼻がつまった時、味を感じづらくなったことはありませんか？赤井先生と古屋敷先生に協力をしてもらい、目をつぶって鼻をつまんだ状態でうまい棒を食べて、味が分かるのか実験をしました。

「うまい棒」はチーズ、コーンポタージュ、たこ焼きの3つの味を用意しました。さて、どちらの先生が味を分かることが出来たのでしょうか？子ども達の予想は「赤井先生が勝つ！」でしたが、結果は古屋敷先生の勝利でした。終わると早速S君から「おいしかった？どんな味がした？」と、質問です。

古屋敷先生「においがしたら美味しいと感じたと思う」「鼻を外した瞬間に、あっ！たこ焼きだってわかった」赤井先生「どれも同じ味にしか感じなかったんだよね。前の2問はみんなの音が聞こえて分かったけど、塩味しかしないから最後は悩んだ」との回答でした。

味覚と嗅覚は食べ物の風味を感じるうえで密接に関連しています。舌で感じる「味覚」に鼻で感じる「嗅覚」が加わって初めて「味」になります。特に、食事の際の風味の8割は嗅覚によるものとされ鼻から抜ける香りが味を左右する重要な要素となります。鼻詰まりは食欲不振の原因となります。症状があるときは早めに受診をし、症状を緩和しましょう。

子ども達から「家でやってみたい！」「(うまい棒の)ほかに何でできる？」「ゼリーでできる？」と興味を持っていました。お子さんと、味の当てっこをしてみてください。



発育測定 9月 8日(月)

0歳児健診 9月 3日(水)

9月17日(水)

保健指導予定 ケガのお話



食育だより

We want to cook delicious food



朝夕の心地よい風に、夏の終わりが近づいてきたと感じるこの頃。季節がだんだんと秋に移り変わっていきますね。8月はミニトマト、なす、きゅうり、ぶどうなど当園で育てた新鮮な旬の味覚を楽しみました。9月は夏の食材と秋を感じる食材に触れあいながら、子ども達と食事を楽しみたいと思います。



糖度の測定

5歳ナノ組さんが、すずじいと一緒に糖度の測定をしました。一体どの果物が一番あまいのかな？ みんなで予想して、糖度計にかけてびっくり。きゅうりやなすだって果物には負けるけど甘さがあるみたい。とうもろこしなんて果物に負けない甘さがありました。断トツの一位はアルテ育ちのデラウェア。数字で見えた甘味。その後の味見で、「きゅうりあまい」の声、糖度3の甘さを感じた子ども達でした。

防災の日

1923年に発生した関東大震災で、死者・行方不明合わせて10万人を超える被害が出ました。防災の日は、この震災を教訓にこのような悲劇を繰り返さぬよう、防災への意識・準備を見直す日です。当園でも、9月1日に非常食の提供と、引き渡し訓練があります。昼食、おやつでは普段と違った食事を体験し非常時に備えたいと考えています。子どもによっては食べづらさもあるかと思ひます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ミックスジュース

アルテの畑で暑さに負けず、実をつけた野菜たちが、給食室に届けられました。3歳ナノ組の子ども達から、「採れた野菜のミックスジュースを飲みたいな」とリクエストをいただいたので、5歳ナノ組さんにお手伝いをお願いして開店した3歳ナノ組さん限定ジューススタンドは大盛況。しばらく、3歳クラスで「ミックスジュース」の歌を口ずさむお友達がいたそうです。

9月の行事食

9/1 (月) 防災の日

〔昼食〕

アルファ米、甘口カレー (非常食)

〔おやつ〕

クラッカー (非常食)

ストロー付きパックジュース

9月8・22日 (月) カミカミ給食

〔昼食〕

れんこんの金平

〔おやつ〕

きな粉お麩ラスク、甘辛いりこ

9/26 (金) お誕生日会

〔昼食〕

食パン、チキンカツレツ風、キャベツとツナのサラダ、コンソメスープ、なし

〔おやつ〕

お誕生日ケーキ (ぶどう)

※ぶどうは小さく切って提供します。



9月の旬の食材

しいたけ・しめじ・かぼちゃ・鮭・さといも・なす・さつまいも・しょうが・ズッキーニ・さけ・かつお・いわし・ぶどう・なし など

